

平成31年4月17日

お知らせ

【同時資料提供先】岡山県政記者クラブ、倉敷市役所記者クラブ



高梁川水系の「堤防等河川管理施設点検」を実施します。

高梁川と小田川において、梅雨等の本格的な洪水期に備えて、岡山河川事務所、高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所職員、防災エキスパート、河川維持業者により、堤防等河川管理施設に異常が発生していないかの点検を実施します（概要は【別添】を参照）。

河川維持管理業務に資するシステムであるRiMaDIS(リマディス(タブレット端末))を活用した点検を実施します(概要は【別添】を参照)。

○堤防等河川管理施設点検実施日

◆高梁川水系 平成31年 4月22日(月) 9:30~15:30
※出発式を9:15から南山橋で実施します(【位置図】参照)。

問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局

高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

電話 086-697-1020(代)

副所長 まさき 正木 としひで 俊英 (内線204)

工務課長 みづたに 水谷 かずま 一馬 (内線311)

【別添】

①洪水期前堤防点検

梅雨等の本格的な洪水期に備えて、高梁川の国管理区間を対象として、高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所・岡山河川事務所職員・防災エキスパート・河川維持業者により、堤防に穴や亀裂、緩み、崩れなどの異常が発生していないか、樋門等に異常が発生していないか、RiMaDIS (リマディス【タブレット端末】)を用いて点検します(概要は別添参照)。なお、異常が確認された場合には、速やかに処置を行います。



○点検参加者

高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所及び岡山河川事務所職員 17人、防災エキスパート3人、河川維持業者4人、計24人の参加により点検を予定しています。

※防災エキスパート

「阪神・淡路大震災」を教訓に、地震・風水害などの大規模災害時に、被災した公共施設等の被災情報の収集などをボランティアとして行う「防災エキスパート制度」が創設されました。

平成31年4月22日(月)「堤防等河川管理施設点検」出発式 【位置図】

取材をされる方へ

報道関係の取材の方は、**平成31年4月22日(水)9:15**から参加者による出発式を実施しますので、それまでに下記場所(南山橋)に集合をお願いします。



「堤防等河川管理施設点検」実施の様子

RiMaDISの概要

【別添(1)】

●RiMaDIS(リマディス)とは

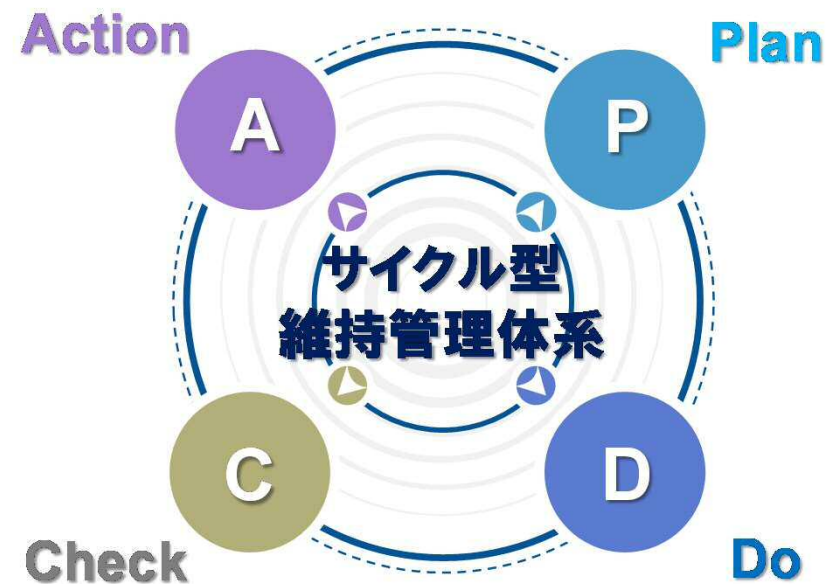
RiMaDIS = River Management Data Intelligent Systemの略称



河川維持管理業務を支援する仕組みである河川維持管理DBシステムの
全国統一版をRiMaDISと呼ぶ。

●RiMaDISの目的

- ① 河川維持管理の現場における河川維持管理業務を着実に、かつ効率的に行うための業務支援。
- ② 現場での河川維持管理のPDCAサイクルによるスパイラルアップの支援、及びこれに基づく技術基準やマニュアル類の充実など、業務の高度化のための知見の効率的な集積。
- ③ 河川維持管理の政策の企画立案に資する基礎的な情報収集の効率化と適切な管理。



●RiMaDISの導入により期待される効果

現場

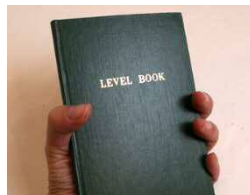
タブレットの導入により、現場監視行為を効率化・高度化

- ① 地図の活用やGPSによって位置情報を把握しながら、的確な周辺状況把握。
- ② 過去の記録や記録項目、関連情報を確認しながら、的確な現場記録を支援。
- ③ 記録と関連付けて写真を撮影。取得データをもとに簡易に日報等を作成。

事務所 出張所

維持管理に係るデータの一元管理により、所内の日常業務を効率化・高度化

- ① 台帳や河川カルテを共有化。蓄積したデータをもとに随時更新が可能。
- ② 適宜分析・評価を実施。河川管理レポート等のとりまとめや意思決定を支援。
- ③ 日常業務に係るデータを簡易に検索・確認。探しものに要する時間を軽減。



現場



事務所・出張所

RiMa
DIS
導入



現場



事務所・出張所

**堤防点検 実施範囲図
(高梁川) : 4月22日(月)**

